

報道関係各位

平成24年 7月30日
株式会社 クロス・マーケティング
(東証マザーズ3629)

**2012年上期 株式投資に勝利した投資家像は、
幅広く情報収集し、FXにも手を出す・・・
「雑食系ポジティブ投資家」
プラス投資家の投資経験年数は意外と短い傾向**

－「株式投資家の実態把握調査」－

株式会社クロス・マーケティング(本社:東京都中央区 代表取締役社長兼CEO:五十嵐 幹)では、20～69歳の男女で、過去2年以内に株式投資の経験がある500人に、「株式投資」に関する調査を実施いたしました。

■調査背景・目的

長らく続く低金利などを背景に、個人投資家の増加が続いており、株式市場でも個人投資家の存在感が高まっていますが、その実態はどうなっているのでしょうか。
今回は、株式市場における個人投資家の投資行動、投資パフォーマンスや今後の投資意向などについて調査いたしました。

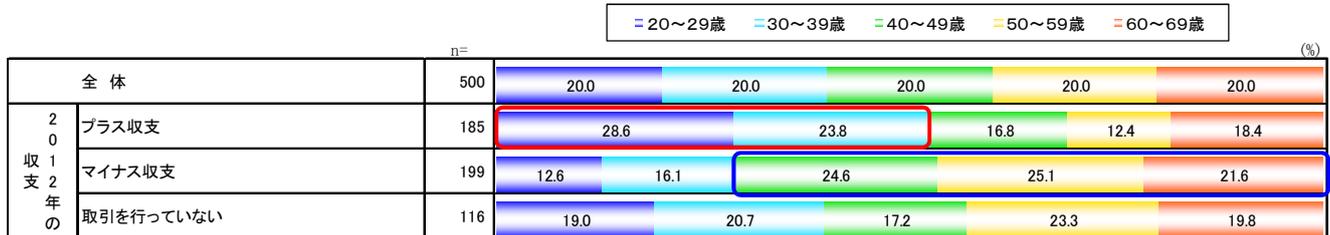
■調査結果

- ✓ プラス投資家*の52.4%と約半数が20歳～40歳未満、マイナス投資家*の71.3%が40歳以上。<図1>
- ✓ プラス投資家とマイナス投資家の男女差はあまり見られない<図2>
- ✓ プラス投資家の52.4%と約半数が「1か月に1回以上」の取引を行っているが、マイナス投資家は35.1%と約3割程度にとどまる。また、プラス投資家は「6か月に1回」から「1年に1回」程度の取引が22.8%に対し、マイナス投資家は40.7%とマイナス投資家の方が、一般的に取引頻度が低い傾向にある。<図3>
- ✓ プラス投資家、マイナス投資家ともに幅広い情報収集を行っているが、個別企業のホームページやビジネス誌など、プラス投資家は、より幅広い情報収集を行っている割合が高い。また、それに掛ける時間もプラス投資家の方が長い傾向にある。<図4,5>
- ✓ 今後の新規投資のタイミングについては、プラス投資家は「3ヶ月未満」と考える割合は51.9%と約半数に積極的な姿勢が見られる一方で、マイナス投資家は39.2%にとどまり、「しばらくない」と回答した割合(31.2%)も含めて、一般的に消極的な傾向にある。<図6>

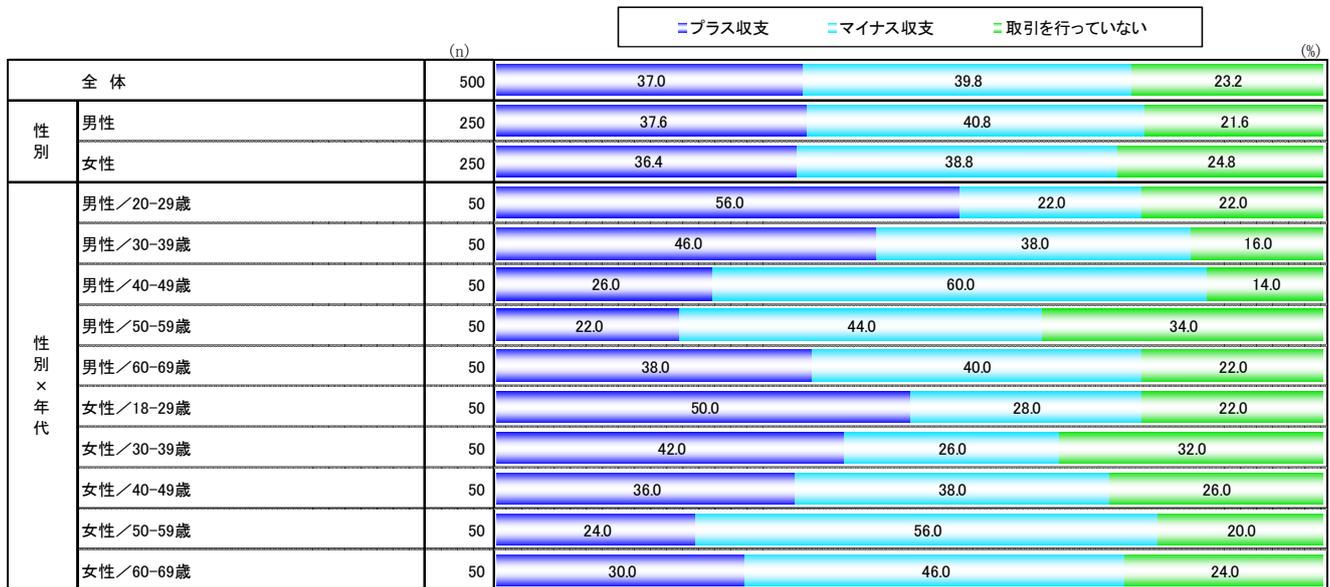
※プラス/マイナス投資家……2012年上期における株式投資の損益状況(含み損益を入れて)がプラス/マイナスの投資家

プラス投資家像		項目	マイナス投資家像	
	20代～30代	世代	40代～50代	
	短め	投資経験	長め	
	1週間～1ヶ月/回	取引頻度	1ヶ月～3ヶ月/回	
	「FX」	株式以外の投資	「投資信託」	
	「業績安定」「株主優待」	保有銘柄の特徴	「高い配当利回り」	
	積極的	今後の新規投資	消極的	
雑食系ポジティブ投資家		投資家像	草食系ネガティブ投資家	

〈図1〉 株式投資家の年代別収支状況



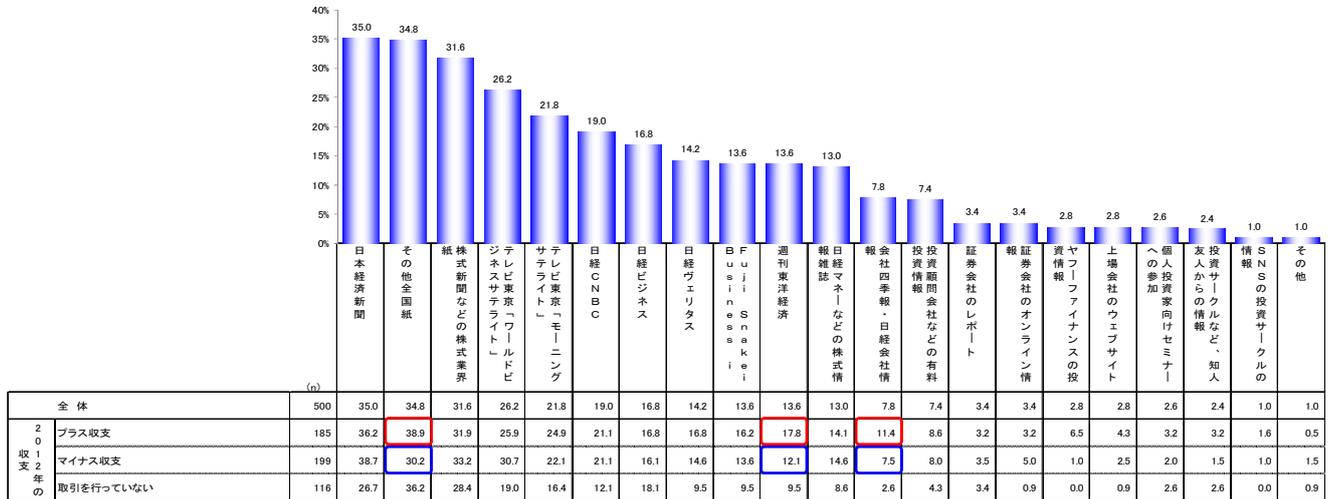
〈図2〉 株式投資家の投資収支状況 性年代別



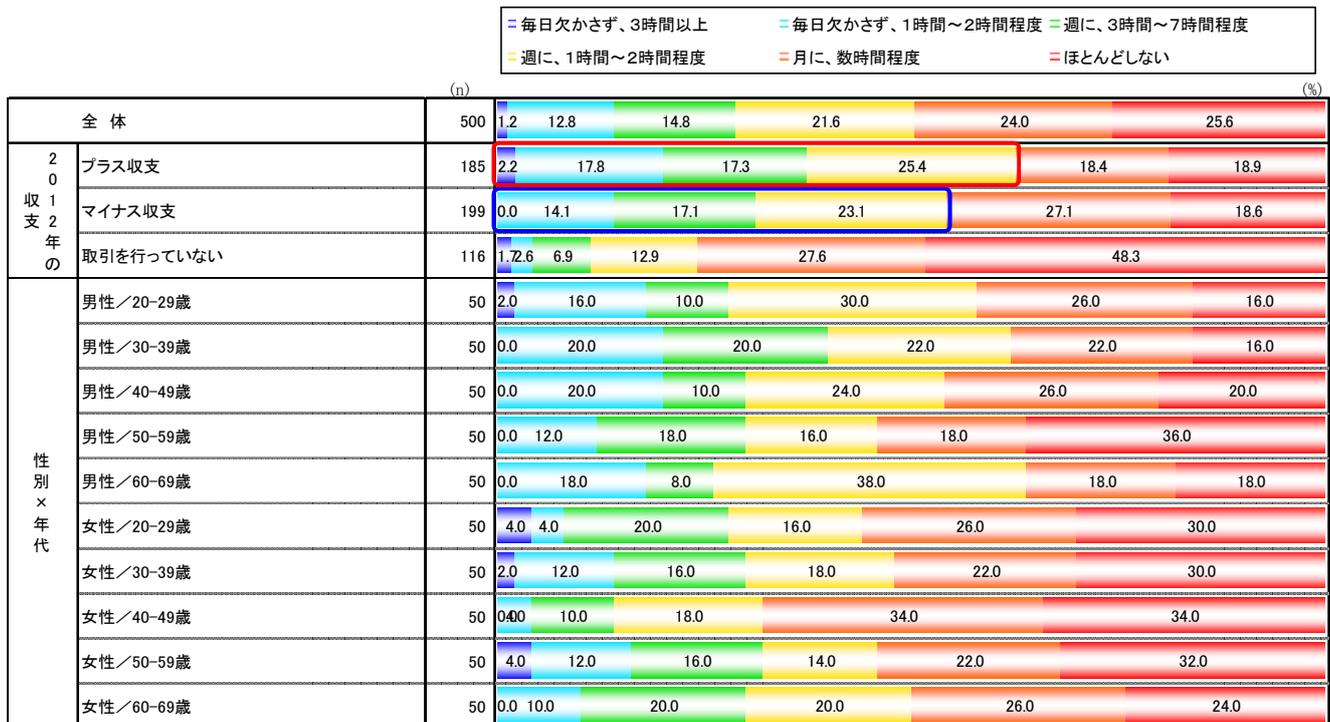
〈図3〉 株式投資の取引頻度



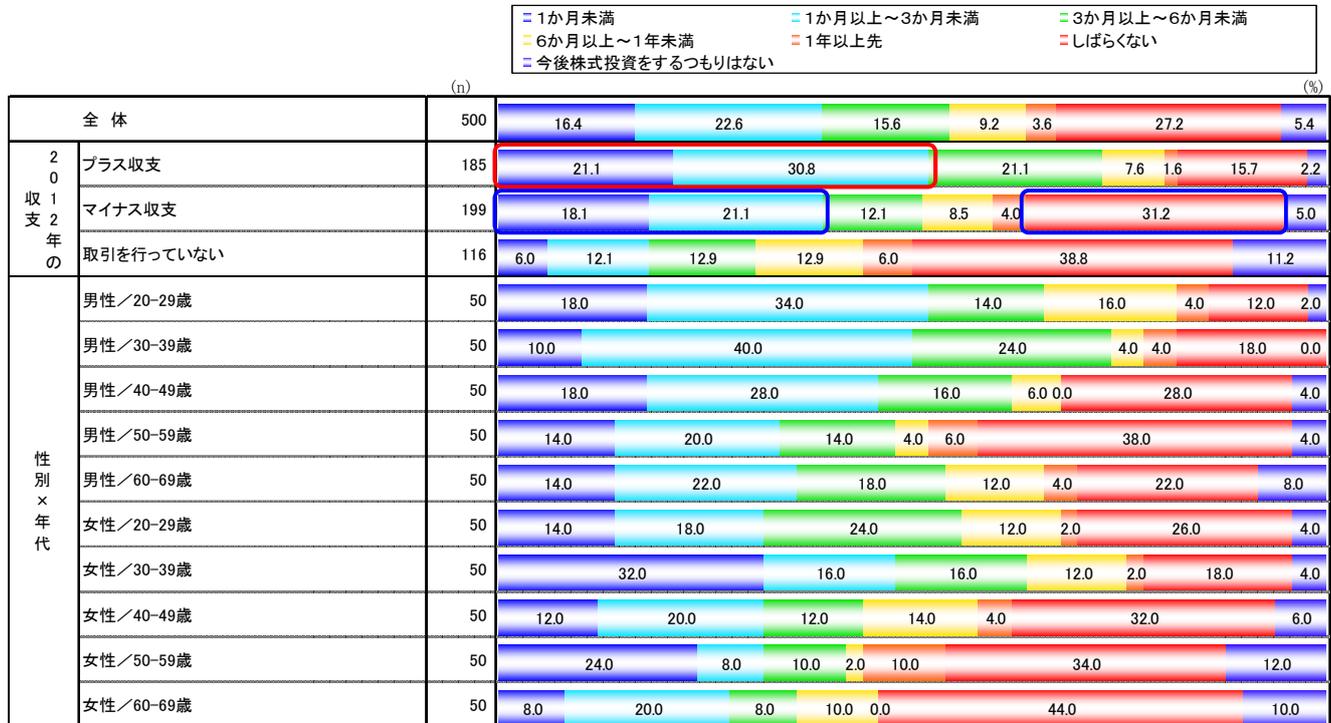
<図4> 個別銘柄に投資する際に情報収集する媒体



<図5> 株式投資の情報収集に対して費やす時間



<図6> 投資(新規購入)のタイミング



■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ (クロス・マーケティング アンケートモニター使用)
 調査対象 : 1都3県 20~69歳の男女で、過去2年以内に株式投資を行ったことのある人
 調査期間 : 2012年7月5日(木)~ 2012年7月8日(日)
 有効回答数 : 500サンプル
 監修 : トーゼンカンパニー株式会社

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 (東証マザーズ3629)
 所在地 : 東京都中央区銀座8-15-2 銀座COMビル6F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : リサーチ事業、ITソリューション事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当: 中野・大島 TEL : 03-3549-0328 FAX : 03-3549-0232
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
 <例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」